

VOL.29

黒田官兵衛(孝高・如水)について調べよう！

2013.2 作成

○黒田官兵衛とは…？

1546-1604(天文 15.11.29-慶長 9.3.20)安土桃山時代の武将。官兵衛、如水とも。クリスチャンとして知られ、洗礼名はシメオン。はじめ播磨小寺氏に属したが、中国経略中の羽柴秀吉に従う。九州平定後豊前6郡を与えられ中津城に入る。家督を長政に譲った後も軍師として活躍。文禄・慶長の役に朝鮮へ渡る。関ヶ原の戦では加藤清正らと九州の西軍を攻撃。

(出典：岩波書店『岩波日本史辞典』「黒田孝高」の項 [1999])

本文中の呼称は引用を除いて「官兵衛」に統一してあります。

○概要を調べる

・Y200 or R031『日本大百科全書19』 小学館 [1988]

→743頁に黒田孝高の項目あり、福岡の崇福寺提供の肖像画がある。略歴や戦歴などがまとめられている。

・R289 トヨ『豊臣秀吉大辞典』 新人物往来社 [1996]

→77頁に黒田官兵衛の項目あり、滋賀県木之本町(現在は長浜市)の官兵衛の墓所の写真がある。洗礼名に「ドン」を付けて表記してある。

○詳しく調べる

▶関連キーワード

- ・黒田氏
- ・福岡藩
- ・軍師
- ・安土・桃山時代
- ・豊臣秀吉
- ・キリシタン大名
- ・文禄・慶長の役
- ・竹中半兵衛
- ・高山右近
- ・黒田長政

など

▶日本十進分類法(一般書)で探す

- 【210.04 日本史】 【210.47 戦国時代】
- 【281 日本人の列伝】 【289クロ 個人の伝記】

▶例えばこんな資料

軍師・黒田官兵衛

- ・ 210.47『戦国の武将三十人』 桑田忠親／新人物往来社 [1996]
→122-129 頁が黒田如水の項。略歴の他に、本能寺の変後、大阪城、関ヶ原の時点での秀吉（豊臣家）とのやり取りなどが描かれており、秀吉が官兵衛をどのように評価していたかについて触れている。
- ・ 210.04『乱世に躍る武将群像』 古川薫／PHP研究所 [1991]
→160-176 頁が黒田如水の項。本能寺以前の戦での様子や、「九州の関ヶ原」ともいわれる石垣原いしがきばるの戦いの様子などが書かれており、官兵衛の軍師としての対応が読みとれる内容になっている。

人物・黒田官兵衛

- ・ R288.2『新訂 寛政重修諸家譜 第7』 高柳光寿／続群書類従完成会 [1965]
→201-204 頁が孝高の項。旧字・旧かな使いの文章で読みにくさはあるが、近世日本史の人物辞典としては押さえておきたいところ。「〇年〇月にこういうことがあった」などと比較的詳細に書かれている。
- ・ 289 クロ『黒田如水』 小和田哲男／ミネルヴァ書房 [2012]
→黒田氏の系譜から官兵衛の死までを多くの資料・史料をもとに記した一冊。巻末には各章ごとの参考文献の一覧や、年表がある他、巻頭には図版の典拠も記されており、文献資料としても価値がある一冊。
- ・ 289 クロ『史伝 黒田如水』 安藤英男／すずき出版 [1987]
→複数の文献を元に記された黒田官兵衛の伝記。その都度参考文献が記載されているので、気になる箇所の検証がしやすい。年表、参考文献一覧なども分かりやすく書かれており、論文を書く際の参考におすすめ。

当主・黒田官兵衛

- ・ L281『ライバル日本史7 激突』 NHK取材班／角川書店 [1996]
→53-92 頁が黒田如水と長政の項。村井勉と童門冬二が対談する形式で、黒田父子について比較・評論する。父子それぞれの「一族の長」としてのまとめ方の違いに、乱世の当主と平時の当主の差が表れていることが述べられている。
- ・ L『武士の家訓』 桑田忠親／講談社 [2003]
→284-292 頁が黒田如水の項。息子長政や周囲の家臣に語った官兵衛の訓示から、官兵衛がどのような考えで当主を務めていたかが分かるように書かれている。

キリシタン大名・黒田官兵衛

- ・ 210.47『物語 キリシタン大名の妻たち』 新人物往来社／新人物往来社 [1991]
→174-199 頁が黒田孝高の妻の項。内容の大半は官兵衛の最初の主である小寺家との関係や妻子との逸話であるが、中に洗礼に関する記述の出典や、滅びたキリシタン大名の家臣を召し抱えた話などがかかれており、官兵衛のキリシタン大名としての一面を知る手掛かりになる。参考文献も記載されている。

○図書以外の資料

◎雑誌記事

「関ヶ原裏面史 黒田如水--九州電撃戦の真相」半田 隆夫

『歴史読本』2003.3 通号 759号

「アップ・トゥ・デイトな戦国武将論(12)水が方円の器を従わせる黒田如水」童門冬二

『歴史と旅』2001.9

◎インターネット情報

・播磨黒田氏 黒田官兵衛 (<http://www.geocities.jp/kurodazensi/>) [最終更新日：2013.1.1]

→播磨黒田氏研究会が管理するサイト。黒田官兵衛の先祖に関する研究(特に前史)を主としている。史跡、史料、論文など、黒田家と官兵衛に関する様々な文献などを紹介している。

○関連団体

・福岡市博物館 (福岡市早良区百道浜 3-1-1 092-845-5011)

→コレクションの一つに、旧福岡藩主黒田家に伝来した黒田家資料がある。2014年の大河ドラマ化を受けて企画展を催すなどして、貴重な資(史)料を公開している。